

平成 24 年度インフルエンザ予防接種公費助成

市内協力医療機関（※五十音順）	小児	高齢者
会田記念リハビリテーション病院（同地 360） ※中学生以上 電話 48-6111	○※	○
いとう眼科（中央 3-11-2） 電話 20-0101	○	○
海野メディカルクリニック （松ヶ丘 6-6-1 アクロスモール守谷 1F） ※小学生以上 電話 20-0605	○※	○
貝塚みずき野クリニック（みずき野 7-16-3） ※小学生以上 電話 21-1221	○※	○
かねこ整形外科クリニック（立沢 982-1） 電話 34-0115	×	○
カリオクリニック（松前台 1-1-6） 電話 48-8448	○	○
川島クリニック（けやき台 6-16-14） 電話 46-3273	○	○
草間クリニック（高野 5070-3） 電話 45-3800	○	○
けやき台整形外科クリニック （けやき台 2-12-18） 電話 45-8777	×	○
小林医院（本町 633） 電話 48-0076	○	○
さとう内科脳神経外科クリニック （野木崎 521-1） 電話 21-1710	○	○
しばたキッズクリニック（立沢 235-7） 電話 21-0811	○	×
下村医院（本町 403） 電話 48-0078	○	○
新守谷皮膚科クリニック（立沢 142-16） ※中学生以上 電話 20-0024	○※	○
総合守谷第一病院（松前台 1-17） 電話 45-5111	○	○
竹内医院（みずき野 5-11-1） 電話 48-6077	○	○
立沢クリニック（立沢 140-8） 電話 45-7798	○	○
寺本こども赤ちゃんクリニック （立沢 2058-6） 電話 44-5563	○	○
永瀬内科（松並 1580） ※小学生以上 電話 48-2000	○※	○
ひがしクリニック慶友（松並 1630-1） ※小学生以上 電話 48-6001	○※	○
メイヨークリニック（けやき台 3-12-3） 電話 45-8115	○	○
もりい内科クリニック（立沢 2058-5） ※13歳以上 電話 44-5267	○※	○
もりもとクリニック（薬師台 1-3-5） ※5歳以上 電話 45-3500	○※	○
守谷医院（百合ヶ丘 2-2560-1） ※13歳以上 電話 48-0067	○※	○
守谷駅前クリニック（中央 1-23-1 齊藤ビル 5F）※小学生以上 電話 47-0003	○※	○
守谷慶友病院（立沢 980-1） 電話 45-3311	○	○
もりや小児科医院（松ヶ丘 4-2-5） 電話 20-6737	○	×
守谷メディカルクリニック （百合ヶ丘 3-249-1 イオンタウン守谷 2F） 電話 47-0213	○	○
ゆりがおかクリニック（百合ヶ丘 3-2660-11） 電話 47-1144	○	○
よしみ内科胃腸科医院（百合ヶ丘 2-2694-41） 電話 48-4891	○	○

ヘルシー保健師だより  
vol. 637

9月10日～16日は  
自殺予防週間

◎自殺予防週間とは…

自殺は、さまざまな悩みや社会的要因によって心理的に追いつめられ、身体的に不調を訴え、長い間迷った末になされる、「いわば「追い込まれた末の死」であることが少なくありません。日本では、平成10～23年の毎年、年間自殺者が3万人

◎周囲の人ができること

★気づき 周りの人の変化に気づき、声を掛ける  
・家族や仲間の変化に敏感になり、心の悩みやさまざまな問題を抱えている人が発するサインに早く気づきましょう。  
・変化に気づいたら、「眠

を超えています。この深刻な状況から抜け出すためには、自殺についての誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及啓発することが必要であり、毎年、9月10日から1週間を自殺予防週間と設定しています。

★つなぎ 早めに専門家に相談するよう促す  
・心の病気や社会、経済的な問題等がある場合は、相談機関や医療機関等の専門家へ相談をつなげましょう。

★傾聴 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける  
・悩みを話してくれたら、時間をかけてできる限り傾聴しましょう。

★正しい対応知識を知る  
きちんと確認する  
・身近な人の話を盲目的に信じるのではなく、専門の知識を持った人に必ず確認しましょう。

★見守り 温かく寄り添いながらじっくりと見守る  
・自然な対応をすることも、体や心の健康状態に

・話題をそらしたり、否定したりするなど、表面的な励ましは逆効果です。本人の気持ちを尊重し、共感した上で、相手を大切に思う自分の気持ちを伝えましょう。

※各種相談窓口・県内精神科病院の一覧は、市ホームページをご覧ください。お問い合わせは、保健センターにお問い合せ版に毎号掲載）